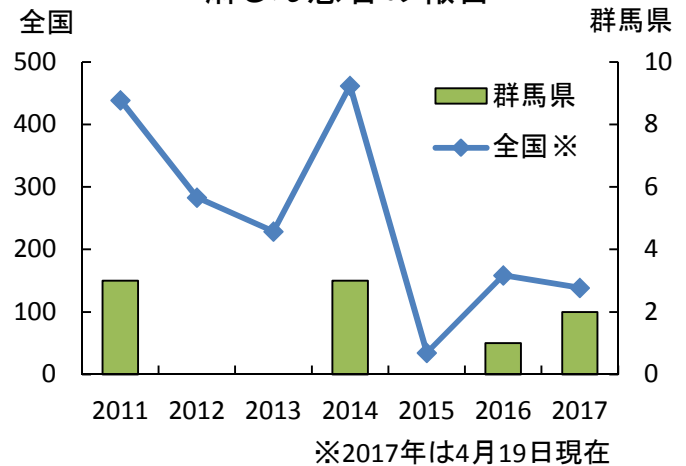


麻しんに注意しましょう！

◆ 麻しんの流行状況

- 群馬県内で、麻しん患者の届出（海外感染例、国内感染例）がありました。
- 全国的に麻しん患者が増加しており、4月19日現在ですでに139例となっています。
- 特にアジア地域で感染し、日本国内へ持ち込む例が報告されています。
- また、国内での感染例も報告されています。

麻しん患者の報告



◆ どんな病気？

- 麻しんは、麻しんウイルスによって引き起こされる感染症です。
- 感染力が極めて強く、空気感染で容易に広まります。
- 感染すると潜伏期（10～12日間）の後、38℃台の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発しんが現れます。
- 肺炎や脳炎などを合併して、重症化することもあります。

◆ 予防方法は？

麻しんの予防接種を受けましょう。手洗いやマスクでは感染を防ぐことはできません。

- 定期接種対象者（1歳児、小学校入学前1年間の幼児）は、麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）の予防接種を早めに受けましょう。かかりつけの医師や、市町村の予防接種担当課にご相談ください。
- 予防接種していない場合、人混みでの感染の危険性があります。
- 予防接種を2回受けていない方、麻しんにかかったことがない方、どちらも不明の方は、予防接種についてご検討ください。

ゴールデンウィークには渡航される方が多くないます。

海外で麻しんなどの感染症にかからないようにするために、感染症に対する正しい知識と予防に関する方法を身に付けましょう。

ゴールデンウィークにおける海外での感染症予防について(厚生労働省)：

http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/travel-kansenshou.html